



環境大臣賞(1件)

環境大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名 飛田テック株式会社
	取組の実践場所 新潟県上越市及び新潟市
	受賞テーマ 使用済み自動車における3Rの取り組み

同社は昭和48年に法人を設立し、建物解体などから出る金属スクラップの加工処理や売買を中心に、廃棄物処理や自動車リサイクルの事業を行っている。現在ではスクラップを扱う本社工場・新潟支店、自動車リサイクルを行う新潟オートリサイクルセンター・新潟オートリサイクルセンター下越と新潟県内に4つの事業所がある。自動車リサイクルについては、平成17年の自動車リサイクル法施行よりも前の平成13年に全国に先駆けて自動車リサイクル専門の工場新潟オートリサイクルセンター(以下、上越工場)を新潟県上越市に設立し、平成16年には新潟オートリサイクルセンター下越(以下、下越工場)を新潟市に設立した。新潟県で発生する使用済み自動車は月に約6,000台~7,000台と推測されるが、上越工場では月に1,100台、下越工場では月に1,200台を平均して処理していて、新潟県内の使用済み自動車の3台に1台は同社で処理している計算となる。



平成17年の自動車リサイクル法の施行後、大臣認定を取得し、使用済み自動車の処理方法としてシュレッターダストを発生させない全部再資源化に積極的に取り組んできた。使用済み自動車の処理としてはシュレッター処理が主流だが、シュレッターダストが発生するため、別途その処理が必要となる。一方、シュレッターダストを発生させない全部再資源化は、使用済み自動車を精緻解体(製鋼の品質に影響する銅含有部品を徹底除去)・プレス加工し、製鋼メーカーにて製鋼原料として1台を全部溶解することによりほぼ100%リサイクルされる。全部再資源化において全国トップクラスの事業所として数年に渡り自動車メーカーから表彰を受けている。平成26年度及び平成27年度の実績では、上越工場と下越工場が全国1位・2位を占めた。



全部再資源化のために使用済み自動車を精緻解体することに伴い、中古部品の取り外しや非鉄金属・樹脂などの資源物の回収を促進し、中古部品の販売によってCO₂排出量の削減に貢献している。自動車リサイクル業界の取り組みとして早稲田大学と産学連携で中古部品活用による二酸化炭素削減量の見える化を行うグリーンポイントシステムを開発した。このシステムを使用するグリーンポイントクラブに加盟して中古部品を使う業者に1部品ごとの二酸化炭素削減量の報告書を送付し、環境問題意識を高めている。
(出典: Green Point Club Ver.1605)

の住民と共に清掃活動を行ったりするなど、環境意識の向上や啓発活動にも積極的に取り組んでいる。同社は、地域共生・地域貢献を理念に、Refuse[リフューズ]、Reduce[リデュース]、Reuse[リユース]、Repair[リペア]、Recycle[リサイクル]の5Rを推進している。